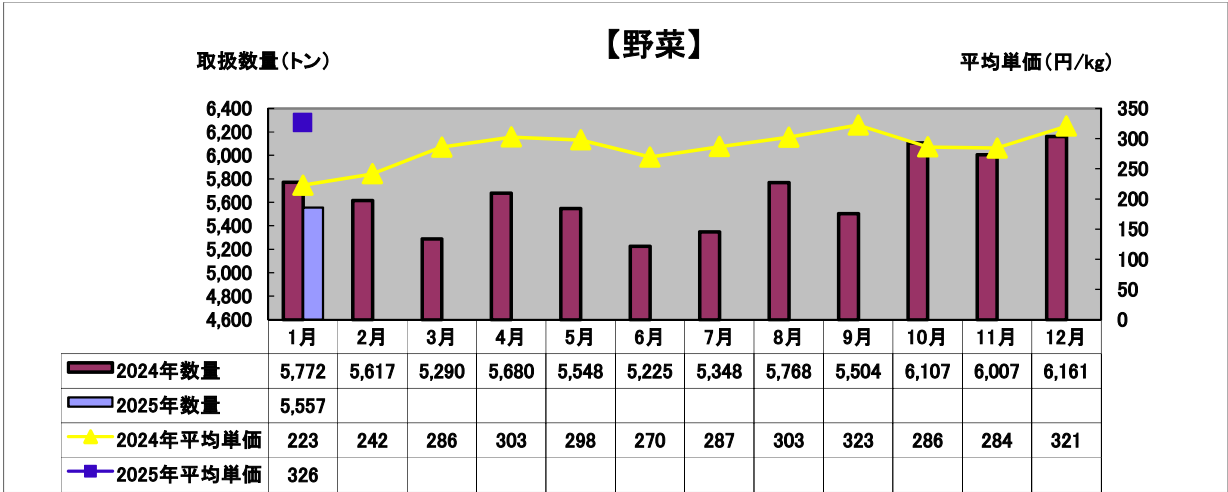
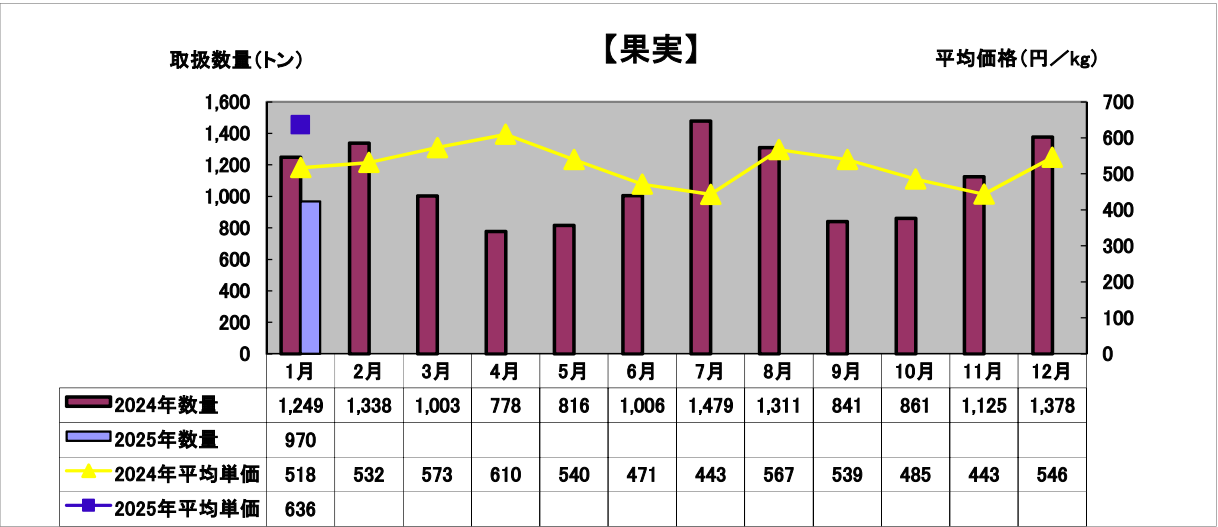


令和7年(2025年)1月 青果部種類別市況



1月の野菜類は、天候不順が継続し特に九州地方の長雨の影響により、入荷量の波が激しい月となりました。前年に比べ数量はやや減少し、平均単価は大幅に高く推移しました。

前年比数量 96%、単価 146%で終了しました。



1月の果実類は、主力のみかんやリンゴ、いちごが猛暑の影響を受け生育不良や生育遅延が目立ちました。
数量はかなり減少しました。単価についてはかなり高く推移しました。

前年比数量 78%、単価 123%で終了しました。